

2022年
1月発行



サタデースクール通信

札幌市教育委員会生涯学習推進課

サッポロサタデースクール事業は、土曜日を始めとした休日に学びや体験の場（プログラム）を提供することにより、子どもたちが充実した休日を過ごすとともに、プログラムの企画・運営を通して、地域と学校の連携・協働の仕組みを整え、地域全体で子どもを育てる意識の向上を図ることを目指しています。

少しでも穏やかな良い1年になることを願って新年を迎えましたが、再び大きな感染の波が到来しています。気を緩めず対策を続けることが大切です。

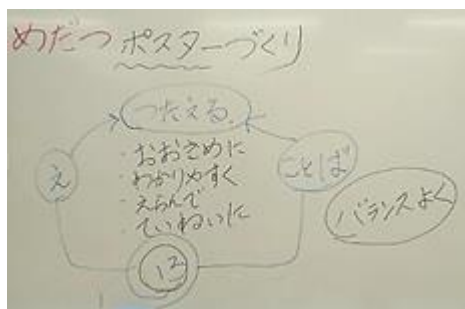
感染状況が落ち着いて推移した11月以降、冬休みも含めて多くのプログラムが行われましたので、一部をご紹介します。取材にご協力いただきました運営協議会の皆様、ありがとうございました。

市民へ発信！ウイルス感染対策【発寒西小学校サッポロサタデースクール事業運営委員会】



札幌医科大学より公衆衛生学ご専門の大西教授・大浦講師をお招きし、感染予防のお話を聞きました。

冬場の室内換気は、対面の窓を使い、風の入口を狭く、出口を広く開けると短時間で効果的に行えるそうです。子どもたちからは、ワクチンの効果についてなどたくさんの質問が出ました。感染予防を題材にしたポスターと川柳の作成にも取り組みました。



P T A が贈る冬の学習会【真栄中学校地域連携協議会】

夏休み・冬休みに学習会を行っていますが、今回は少し趣向を変えて、チーム戦の謎解きバトルが行われました。

出題は、クロスワードや穴埋め二字熟語漢字などの語彙問題や、紙幣の肖像が変わることを踏まえた時事問題など、オリジナルの全5問。複雑な校舎の造りを生かしてチェックポイントやヒントが配置されており、頭と体をフル回転させて楽しく学びました。



*** 選べるわくわく体験教室【清田緑小学校サタデースクール運営協議会】 ***



清田緑小家庭教育学級の皆さんの企画で、3種類の体験教室を同時開催しました。

「理科実験教室」では、温度で異なる水の重さや静電気発生実験で大盛り上がり。

「化石を知ろう」では、大学生のサポートのもと、石の塊から化石を掘り出すクリーニング作業を体験。

「生け花教室」では、小さなガラス瓶にバランスよく花を生けました。



*** 防災教室【札幌緑小学校地域連携協議会】 ***

東区役所総務企画課より講師をお招きし、災害時の避難について地域の方と一緒に学びました。

避難所（学校）に避難するのはどういう時か、避難所に着いたら何をするか、新型コロナなどの感染症に気を付けた避難とは、の3つのポイントを、講義やクイズ形式で学びました。新聞紙を使った簡易スリッパや、段ボールベッドの作成体験もありました。

スタッフは「さつなえ緑小お父さんの会」の皆さんが大活躍。揃いのTシャツも素敵です！



❖❖ 書き初め&琴（箏）・尺八演奏会【手稲中央小学校サタデースクール運営協議会】 ❖❖



冬休み宿題お助けプロジェクトとして元小学校教員を講師にお迎えし、書き初めに取り組みました。約1時間集中力を切らさずに何度も繰り返し書いて、見違えるほど上達しました。

書き初めの後はお正月にふさわしい琴と尺八の演奏会。お琴の先生は同校の卒業生だそうです。演奏体験も楽しみました。



❖❖ 食う・寝る・遊ぶをグレードアップさせるセミナー【星置サタデースクール運営協議会】 ❖❖



プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」でトレーナーを務める藤本氏と北海道初のアクティブスリープ指導士であるフリーアナウンサー佐藤麻美氏をお迎えし、生活の質やパフォーマンスを向上するための睡眠や食事について伺いました。

よくある昼食後の眠気は、満腹だから眠たい訳ではないのだそうです。昼寝に代えて短時間でできる脳のリフレッシュ方法を教えていただきました。また、中学2～3年生の英語力があれば英語圏で生活できる、といったお話も。これからの授業に一層集中できそうですね。

❖❖ 書き初め教室【ひばりが丘小学校地域連携協議会】 ❖❖

3年生は半紙に「正月」を、4～6年生は自分で選んだ四文字熟語を書き初め用紙に書き上げました。「変幻自在」や「花鳥風月」のほか「有言実行」「苦手克服」など新年の決意がうかがえました。

書き初めの後は、大きな紙を使って、漢字一文字書きと寄せ書きにも挑戦。作品は、3学期の始業式に体育館内の壁に飾られました。



